

令和2年8月14日

それでは、この新型コロナウイルス感染症に関しまして、県民の皆さんへのメッセージということでお伝えをしたいと思います。

8月3日に「三重県新型コロナウイルス『緊急警戒宣言』」を発出させていただいて、約10日が経過をいたしました。この間も、県内では8月5日に過去最多となる24件の新規感染者が発生をしたり、大学での大規模なクラスターが発生をしたり、予断を許さない状況が続いています。

一方で、先ほど少し申し上げましたように、7月28日、特措法第24条第9項に基づく要請を実施させていただいた後、直近1週間の新規感染者数は前の週に比べると減少はしてきています。これもひとえに県民の皆様お一人お一人がしっかりと感染防止に取り組むなど、ご協力いただいたおかげだと思ひ、あらためて感謝を申し上げたいと思ひます。

しかしながら、まだまだこの夏、人の移動も続きます。まだまだ気を緩めることなく、感染拡大防止対策に取り組む必要があると考えておひまして、宣言発出後の最新状況をふまえた感染拡大防止に向けた「10の取組」を追加をしまして、「緊急警戒宣言」の期間を8月31日まで延長することといたしました。

その詳細などについて、少しお話をさせていただきたいと思ひます。

まず感染者の状況でありますけれども、ここにありますとおひらずと増えてきていて、ここが7月28日、8月3日という形になりますが、この山だけ見ますと少し日々のデコボコはありますけれども、この山が少し下がってきているような状況にあるというふうに見られます。

陽性率につきましては、これそれぞれ、ここだけまだ直近ですので一週間ではありませんけれども、こういう形で伸びてきて、前の週8月3日から9日は6.3%でありましたけれども、少し下がってきているというような状況です。これは疑似症検査も同じでありまして、さらにこれですね。次、接触者の検査においても、接触者の検査の方も少しここから高止まりしていたところですけども、今少し下がってきているというような状況にあります。

これをもう少し分析、さらにしていきますと、報告日と発症日、発表させていただくと発症している日ですけども、患者の方々が発症されている人数が一番多いのが7月30日で、発症されている日のピークは少し下がってきているというような状況ですので、この前の状況、特にこの4連休とかですね、こういうところの状況が影響してここにピークがあるけれども、発症している人の人数は少し下がってきているということと、この間調査をしたり検査をしたりしてしますので、その報告のピークが、これより後ろですけども、これのピークも一緒に下がっているということ。

次、この週別の年齢と感染区分の別なんですけれども、ここにありますとおひり、7月6日から26のところは、10代・20代で63%あったんですけども、現在は40代以上で64%ということで、年代の様相が少し変わってきた、少し高い年齢に上がってきていると

いう状況。ここの感染区分の方は、新規と接触者はそんなに大きな変動はないですけども、前の週と比べると直近の方が、接触者の数の方が増えているということです。

それからこれは感染由来別ですけども、この県外の割合が少し減ってきていますけども、県外の方は約4分の3が名古屋・愛知・岐阜というような状況になっています。ここでは73%ですから、73%が名古屋・愛知・岐阜というふうになっていますが、一方で県外からの由来の中でさらに県内の家族にうつっていくというような状況がやはり増えてきていまして、その状況はこっちですね。この家族の方にうつる、友人の方、それから飲食店。家族の方が県内での感染の約4割ということでありますので、やはり身近に、近いところで、感染が起こっているということであります。

で、こっちの県外のところですね、飲食店に行った、職場、訪問したというところで、接待を伴った飲食店に行ったというので、県外由来の方はこういうところのパーセンテージが多いということです。

これは保健所管内別で、ちょっと津は三重大クラスターが入っているので、ほとんど津管内ですからちょっと少し様相が違いますけども、全体として桑名・四日市・鈴鹿の保健所の管内で直近増えていると、この2週間あたり患者数が急増しているということであります。

そこでこういう状況をふまえて、今回、このように今申し上げましたが、緊急警戒宣言を延長させていただきたいというふうに思っております。

もともと緊急警戒宣言はお盆まで、この16日まででありましたが、先ほど申しあげましたとおり、少し前の週と比べたら一定の低減傾向の兆しは見えてきておりますが、まだまだ気を緩める状況にありませんので、宣言を延長して取り組みたいと思います。

単に延長するのではなくて、直近の、宣言発出後8月3日以降の最新状況をふまえた感染防止拡大のための10の取組、これを追加をしてやっていきたいというふうに考えています。

10の取組、1つは、この直近の状況の特徴的なものから感染防止対策を考えていく、取り組んでいくということです。

1つはやはり重傷者が出たというのがこれは大きな1つの特徴でした。ですので、この2件、重傷者が出ましたので、特に高齢者、基礎疾患のある方は重症化の可能性がありますので、これまで以上に感染防止対策、感染リスクの高い場所への移動は控える、あるいはご家族も、こういう方がいらっしゃる場合、ご家族も持ち込まない、徹底的な対策をお願いしたいというのが1つ目。

2つ目は、40代・50代以上の感染者が増えているということでありますので、全ての世代、若い世代の方ももちろんですけども、全ての世代であらためて感染防止対策を当事者意識をもってやっていただきたいというふうに思っています。

それから家庭内での感染拡大、これは前、少し啓発させていただきましたけども、先ほど言いましたように県内での感染のうち4割が家族間の感染で、その中には小中学生や高校生も含まれています。ですので家庭内での感染防止対策、健康チェックを入念にする、

健康に不安があったら部屋を変えてみるとか、あるいは家の中でも消毒・手洗い・手指消毒などをしっかりやる、あるいは高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接するときは、家庭内でもしっかり注意をしてもらうということです。

4つ目、実は直近の192名の方のうち、無症状の方は19名しかいません。つまり、他の方は何らかの症状があります。倦怠感、発熱、頭痛などで、解熱後にもう1回発熱するというようなこともけっこう見られています。ですので、体調にちょっとした異変を感じたら、外出とか人との接触を回避したり、あるいはかかりつけ医療機関や帰国者・接触者相談センターにすぐに、早期に連絡をしていただく。そこで我慢してしまって家族とか企業とかに職場にうつるといふことのないようにしていただく。だから体調に異変を感じたら、「無症状の人もおるでなあ」というふうに思わずに、やっぱり発症する人のが圧倒的に多いので、体調の異変を感じたらぜひ、接触を控えたり相談をすぐにさせていただきたいと思います。

5つ目はいわゆる北勢地域、桑名・四日市・鈴鹿で患者数が急激に増加しているということです。県外との往来の多い地域ですから、そういう繁華街とか、感染者が多数発生しているエリアへの訪問を自粛したり、あとお勤めの方は勤務後の繁華街への訪問自粛などをお願いしたいというふうに思っています。

職場内なんですけども、実は今回の直近の緊急警戒宣言後の会社員という方の状況を見てみますと、県外にお勤めの方とか、あるいは県内にお勤めでも、例えば本社が県外で、あるいは全国的に事業所をたくさん持っているような企業で、取引先も他県との取引が結構あるような、そういう事業所の方の感染が実はたくさんあるんです。ですので、あらためて、そういう企業における県外への出張、あるいは県外からの訪問、そういう多い職場は特に注意して、オンライン会議とか出張時期の見直し、あるいは職場における感染防止対策の徹底をぜひお願いし、在宅勤務や時差出勤も活用させていただきたいと思います。

続いてはクラスター、7つ目、クラスターが発生したということで、今回の三重大学のクラスターは大人数で旅行して飲食したり、3つの密が重なる場に長時間いるというようなことが多かったので、そういうのを控えていただきたいということとか、距離の確保、マスクなどをしていただきたいということです。

8つ目です。集団生活、これは他県の例ですけども、島根県などで学校の寮、ありました。ですので県内の類似施設の徹底をしていくということ。

9番目ですけども、この間の3県知事会議のときもありました、我々でも検疫の関係とかも含めて、外国籍、在住外国人の方の感染事例が発生をしていますので、これは県とか市長とか行政機関で取り組むということですけども、多言語での感染防止の呼びかけとか、あるいは差別、偏見につながらないような啓発、これもしっかりやっていきたいと思っています。

それから今回の直近の特徴の1つはこれです。行政機関、市の教育委員会、警察、あるいは裁判所、こういう行政機関での発生があったということも1つの今回特徴ですから、行政機関として職員の健康管理、あるいは感染防止対策の徹底、職員への注意喚起、こういうのをしっかり我々としてもやっていかなければならないというふうに考えております。

このような10の取組を追加して、緊急警戒宣言を延長したいというふうに考えて

います。

あとは、これまでも説明しています医療提供体制は、PCR外来6カ所開設済みとなりました。あと4カ所追加したいと思いますし、検査は1日最大640件に向けて準備をしまして、これ前回と比べると検査機器の追加配備11台が12台に変わっています。

病床も木曜日に確保しまして、軽症者向けも運用を開始しました。

それから飲食店も6,590店舗に周知を図り、8月を目途にさらに約18,000店舗周知していくということになります。

それからこれです。あまり実感はないかもしれないんですけども、実はこのCOCOAで通知が来た、で検査を受けて、という人が三重県でもけっこう例が出てきました。ですので、このCOCOAで通知がくるというような、その方の結果が陽性か陰性かということとはちょっと、経緯ということは申し上げることはないですけども、COCOAが検査につながっているという例が実際に県内でもありますので、あらためてこのCOCOAの積極的な活用もお願いしたいということでもあります。

以上、いろいろ申し上げましたけれども、この緊急警戒宣言についてご理解をいただいて、もうひと踏ん張り、一人一人が徹底した感染防止対策を行っていただきたいと思えます。

併せて、繰り返しになりますけれども、感染者の方や、その関係の方々に対する誹謗中傷、差別偏見、これは絶対にやめてほしいと思います。そういうことを行って、ウイルスがなくなるということは一切ありません。ですので、そういう差別、偏見などはぜひ止めていただきたいというふうに考えています。長くなりましたけれども、私からは以上です。